

第1回 アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会

# 『UDCBKの概要と今年度事業報告 及び来年度事業計画（案）』

1

地域を知る  
互いを知る

未来の  
イメージ  
共有

新たな  
活動の創出

UDCBK

1	UDCBK事業概要	3
2	今年度事業報告	17
3	新拠点移転計画（別紙）	30
4	来年度事業のテーマ（案）	31
5	その他	38

# アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業

- 草津市総合政策部草津未来研究所の事業の一貫
- アーバンデザインセンターびわこ・くさつ (UDCBK)事業が正式名称
- 基本的には文化資本、社会関係資本など経済原理には馴染まないが、地域の潜在能力を発揮するために必要な資本の充実を目指す。
- 産学公民連携のプラットフォームとして草津市の潜在能力を引出し、その力を発揮する機能を示す。
- アーバンデザインの観点から、政策の選択肢を提案する。
- 当面の間、市の事業として実施するが、将来的には法人化を目指す。
- 法人化の目的は、機動力ある運営と各種助成金・補助金・寄付が受けられるようにすること。

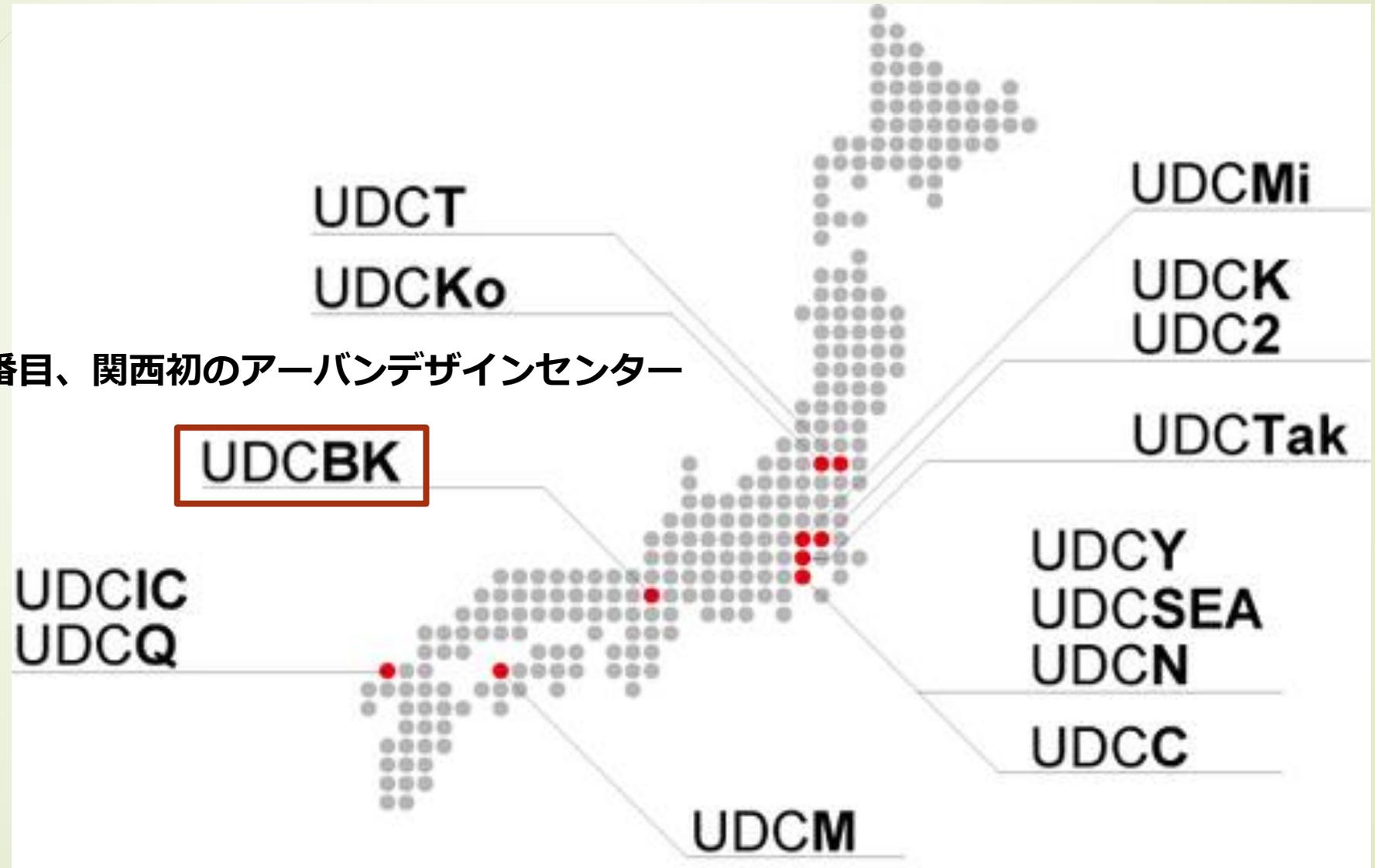
# UDCBK って なに？

産学公民が  
連携して

<b>U</b>	Urban	アーバン	ミライの都市の
<b>D</b>	Design	デザイン	デザインを考えるための
<b>C</b>	Center	センター	人や情報が集まるところ
<b>B</b>	Iwako	びわこ	びわこがある
<b>K</b>	Kusatsu	くさつ	草津のまちの

# 全国14のUDC一覧

全国13番目、関西初のアーバンデザインセンター



## 産学公民連携のプラットフォーム

- それぞれの組織に属する人々や多様な個人が、ただ地域をよくしたいという志だけで集まり、
- 気軽に自由に地域の未来について語り合い
- さまざまな未来のイメージを共有し、
- それぞれの組織に戻り、未来を実現するためにそれぞれができることを考える

ための機能を提供する場

# UDCBKの目標

いろいろな未来のまちのイメージ（選択肢）の展示室



まちの**潜在能力**を見つけだし、発揮できる機能を示すために

つながり  
(絆)

サードプレイス

知の  
栄養

学習・交流

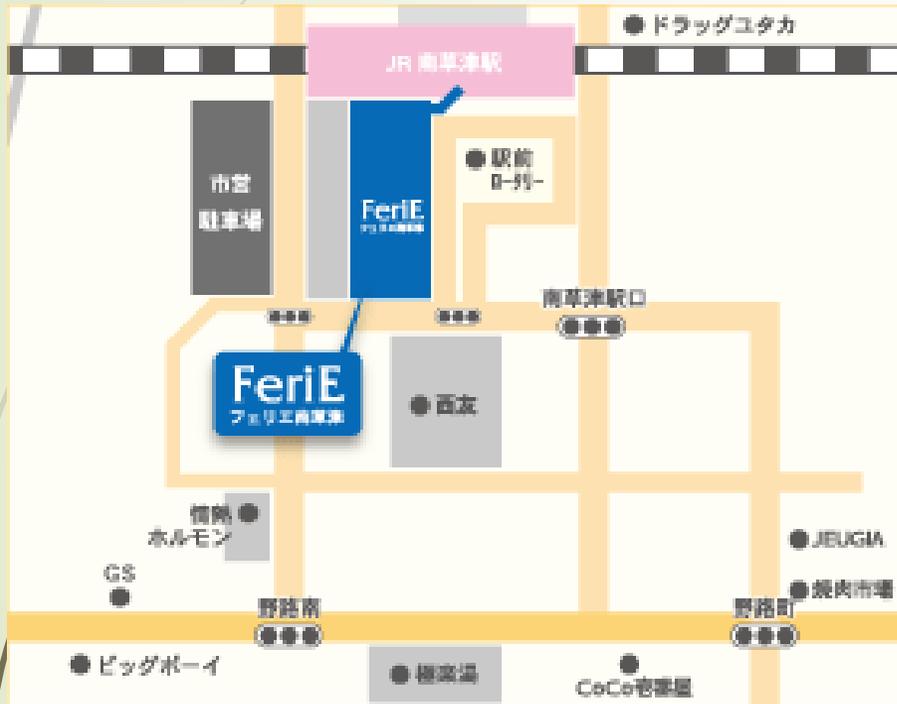
知の  
発酵

調査研究

活動  
(運動)

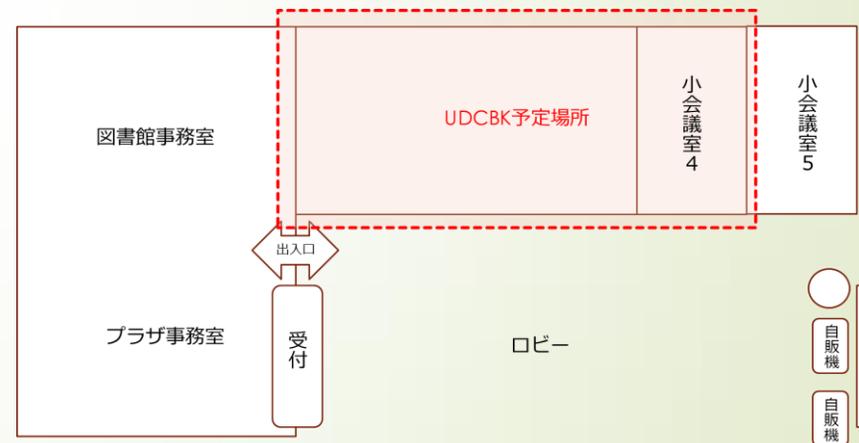
社会実験

# UDCBKの開室場所と日時



## 【開室曜日・時間】

火・木・土 午前10時から午後6時45分  
 水・金 午前11時30分から午後8時15分  
 (日・月・祝 (祝日が月曜の場合は火曜日休室))



フェリエ5階 市民交流プラザ内

# 運営スタッフ

No	役職	所属	氏名	役割	備考
1	センター長	立命館大学理工学部教授	及川 清昭	アーバンデザインセンター運営に関する全て	非常勤
2	副センター長 (調査研究)	立命館大学理工学部准教授	武田 史朗	センター長を補佐するとともにプログラムごとに専門的観点から指導・助言を行う。	非常勤
3	副センター長 (渉外事務)	草津市総合政策部理事	山本 憲一	センター長を補佐するとともに渉外・契約・新拠点等に関することを担当	非常勤
4	シニア ディレクター	草津市総合政策部 草津未来研究所参事	溝内 辰夫	拠点運営に関する全て	常勤
5	ディレクター	草津市総合政策部 草津未来研究所参与	澤田 圭弘	新拠点移転・法人化検討	常勤
6	事務スタッフ	草津市臨時職員	山村 和香 南 利圭子	拠点運営の関する事務及び受付	常勤
7	サポート	立命館大学地域連携室課員	課員交代	運営支援	水曜日

## UDCBKの役割

場のプロデューサーとして

産学公民連携の構成員として

## 場のプロデューサーとして

- 斬新なアイデアが生まれる空間の演出
- 魅力的な多様なプログラムの提供
- 情報基盤を整備すること
- アイデアが湧き出る場づくりに徹すること

# 斬新なアイデアが生まれる空間の演出



## 魅力的で多様なプログラムの提供

- 草津の未来について考えたいと思えば、それが若いときであろうと年老いたときであろうと、人生のいついかなる時においてもそのために必要な手段や教材を利用できる場にする
- 自分の知っていることを他の人と分かちあいたいと思うどんな人に対しても、その知識を彼から学びたいと思う他の人々を見つけ出せるよう人と人をつなぐ場になる
- 他の人に問題提起をしようと思うすべての人々に対して、そのための場を提供すること

# 情報基盤の整備

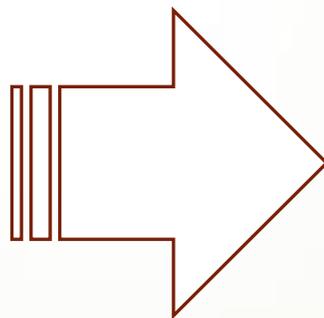
## アーバン (urban)

英語で「都会的な」、「都市的な」という意味

## プラン (Plan)

“計画”という意味を表わす最も一般的な語

図面、**平面図**、地図



## デザイン (design)

語源は“計画を記号に表す”という意味のラテン語designare

デザインとは、ある問題を解決するために思考・概念の組み立てを行い、それを**様々な媒体に応じて表現**すること

平面的で静止画的な都市計画から

立体的で時間と空間を意識した動画的なアーバンデザインへ

# アイデアが湧き出る場づくりに徹すること

普段出会わない人や知識との  
偶然の出会い



学習・交流

新たな解釈 1

新たな解釈 2

新たな解釈 3

サードプレイス  
(居心地のいい場所)

新たな疑問 1

新たな疑問 2

新たな疑問 3

調査研究 1

調査研究 2

調査研究 3

情報発信

社会実験 1

社会実験 2

社会実験 3

解決案 1

解決案 2

解決案 3

人や情報

\* 実際は「交流⇒学習⇒調査研究⇒  
社会実験」と順番に進むのではない

## 産学公民連携の構成員として

草津のみらいをよくしたいという  
志（こころざし）を持つ民（たみ）

UDCBK

市民活動

産

学

公

民

1	UDCBK事業概要	3
2	今年度事業報告	17
3	新拠点移転計画（別紙）	30
4	来年度事業のテーマ（案）	31
5	その他	38

# 今年度事業報告

- キックオフイベント
- アーバンデザインスクール
- 未来創造セミナー
- 草津市社会実験推進事業
- その他企画
- オープンスペース利用
- 利用統計

# キックオフイベント

- ▶ 10月15日（土） 10:00～12:00
- ▶ 草津歌劇団の祝舞から始まり、出口UDCKセンター長の基調講演、出口先生、及川UDBKセンター長、福井太加雄草津市まちづくり協議会連合会会長、橋川市長によるパネルディスカッションを実施、最後はカラーズ（KMP）の手話付コーラスでフィナーレを飾りました。（79名参加）
- ▶ その際のキーワード

健幸都市

多文化  
共生

# アーバンデザインスクール

- ・将来UDCBKの運営の担い手となる「媒介の専門家」「地域の専門家」の育成を目的とする。
- ・話題提供者の講演のあと、ワークショップを実施する。
- ・全回のコーディネーターは肥塚浩氏（大学地域連携強化プラン懇話会座長、草津未来研究所顧問）

	1	2	3	4	5
開催日時	平成28年11月12日（土） 10:00～12:00	平成28年12月10日（土） 10:00～12:00	平成29年1月14日（土） 10:00～12:00	平成29年2月18日（土） 10:00～12:00	平成29年3月11日（土） 10:00～12:00
テーマ	アーバンデザインセンターとは？	松山アーバンデザインセンターの運営	UDCBKのコンセプトができるまで	南草津の商業集積について（仮）	これからのUDCBKについて（仮）
会場	市民交流プラザ 中会議室				
話題提供者	信時正人氏 （立命館大学デザイン科学研究センター客員研究員）	松本啓治氏 （愛媛大学防災情報研究センターアーバンデザイン研究部門教授）	溝内辰夫 （UDCBKシニアディレクター）	大橋康男 （草津市都市計画部まちなか再生課）	及川清昭氏 （UDCBKセンター長、立命館大学理工学部教授）
ワークショップ・テーマ	UDCBKへの期待	学習企画	オープンスペース活用		
参加者数	22	27	40		

# 未来創造セミナー

- ・ 学習・交流を目的に実施
- ・ この場から、異なる考えを知り、さらに各自が考えを深め、次のテーマを見つけ出すことを支援

	1	2	3	4	5
開催日時	平成28年10月25日 10:00～12:00	平成28年11月16日 18:30～20:00	平成28年12月16日 18:30～20:00	平成28年12月17日 18:30～20:00	平成29年2月17日 10:00～12:00
テーマ	たぶんカフェ① 外国人ママと 日本人ママ	たぶんカフェ② 草津で働く外国人 と日本人	たぶんカフェ③ 留学生と 地域の人々	ワク熱教室 草津 の未来はワクワク ドキドキ	備える防災からイ ツモの防災へ
講演者等	工藤里香准教授 常田裕子専任講師 (京都橘大学看護 学部)	小沢道紀氏 (立命館大学ス ポーツ健康科学部 准教授)	亀田直彦氏 (立命館大学BKC 国際教育センター 課長)	安居長敏氏 (滋賀学園中学・ 高校校長)	山口洋典氏 (立命館大学共通 教育推進機構准教 授)
参加者数	35	37	40	97	
備考	外国人15名	外国人9名	外国人10名		

# 草津市社会実験推進事業

- ▶ 包括協定締結大学を対象に社会実験事業を**草津市から委託**
- ▶ 今年度は各大学の提案を審査し、採択
- ▶ 将来的にはUDCBKでの対話を参考に社会実験のテーマを示し、各大学に提示

社会実験のテーマ	委託大学
避難生活時に適応するための火育教育プログラム開発	滋賀大学
高齢者の健康調査と健康体操の効果検証	京都橘大学
南草津駅前広場における琵琶湖のヨシを使用したアートワークによる賑わい創出	成安造形大学

## その他企画

開催日	タイトル	概要	協力団体	参加者数
2017.12.21	立命館大学生と考える 少子化問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>滋賀県少子化対策プロジェクト事業に採択された立命館大学3団体の成果発表</li> <li>その成果発表に対して、大人たちと一緒に妥当性を議論。</li> </ul>	REFLE.	50
2018.1.7 2018.2.4 2018.2.26	シリーズ「子どもの意見は案外正しい」 中高生しゃべくり007	<ul style="list-style-type: none"> <li>草津の未来を考える上で現在の中高生の意見を聞くことは重要との認識から、子供たちの意見も案外正しいことを大人たちに実感してもらう機会を設ける。</li> </ul>	D.Live	20 — —
2018.1.15	Worldたぶんカフェ・ ファイナル	<ul style="list-style-type: none"> <li>UDCBKで行った「たぶんカフェシリーズ」のまとめをKIFA主催で議員の参加のもと、まちづくりセンターで開催。</li> </ul>	KIFA	50
2018.1.22	働く世代の健康づくり ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>健幸都市基本計画タウンミーティングのあと、健幸都市計画のパーソナライズ化のためのワークショップを開催。</li> </ul>	健康福祉 政策課	50

# オープンスペース利用

タイトル	概要	主催	開催日	利用者数
やさしい にほんご サロン	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国にルーツを持つ人とやさしいにほんごで語り合うサロン</li> <li>UDCBKとしても外国にルーツを持つ人の居場所として、その知識と経験をまちづくりに活かしたいとの思いから</li> </ul>	KIFA	毎週火曜 10:00~12:00 第三金曜 18:00~20:00	約10名 (外国5名)
オープンガバナンス 研究会	<ul style="list-style-type: none"> <li>立命館大学委託研究員の研究に一貫として実施</li> <li>UDCBKはオープンガバナンス的な取り組みでもあることからフィールドを提供</li> </ul>	立命館大学 委託研究員	10月~12月 第二金曜、第 四水曜 18:30~20:00	平均10名程度
マンション防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>南草津駅前のマンション住民の自主勉強会</li> <li>まちづくりに防災の観点が必要なこととマンション住民の交流の場としてマンション内・マンション間の交流支援</li> </ul>	マンション住民 有志	2017.11.16 2017.12.7	30名 34名
Code For Kusatsu	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンデータを推進する市内の団体の研究会</li> <li>UDCBKとしてもオープンデータの推進は今後の活動に不可欠ゆえ支援</li> </ul>	Code For Kusatsu	不定期	約10名

# 利用統計 (2016.10.15~2017.1.27)

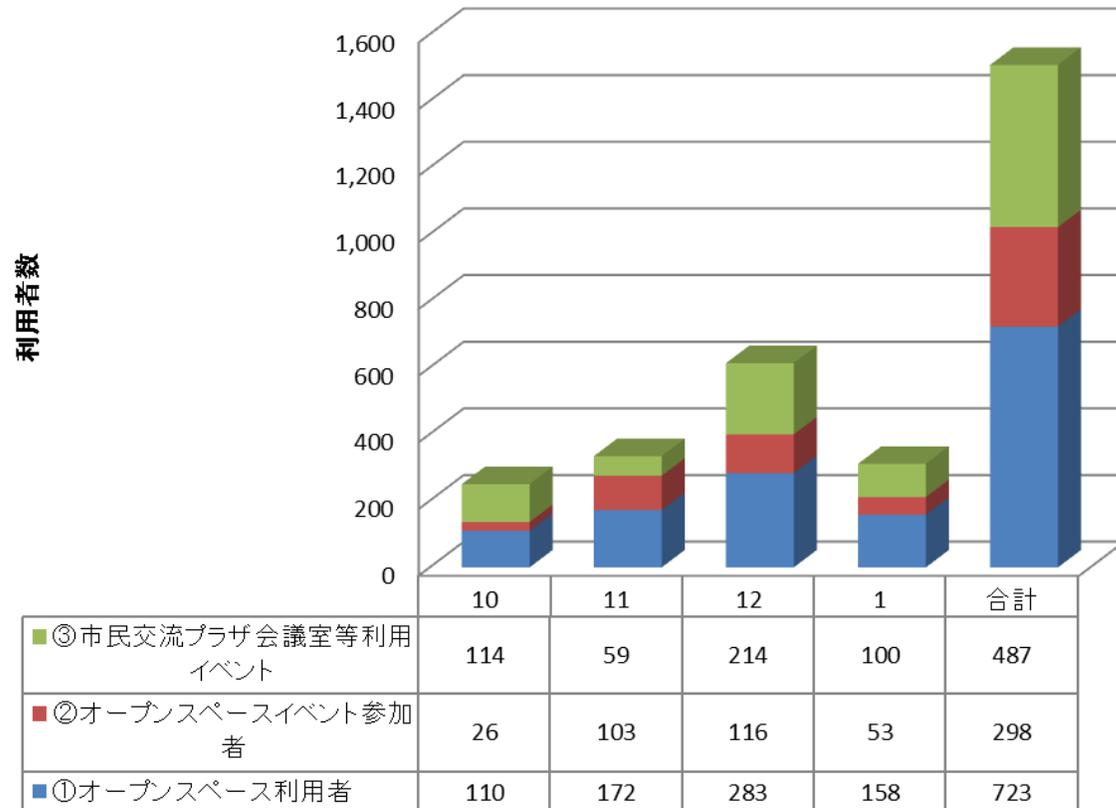
総利用者数 1,508人

開室日数 71日

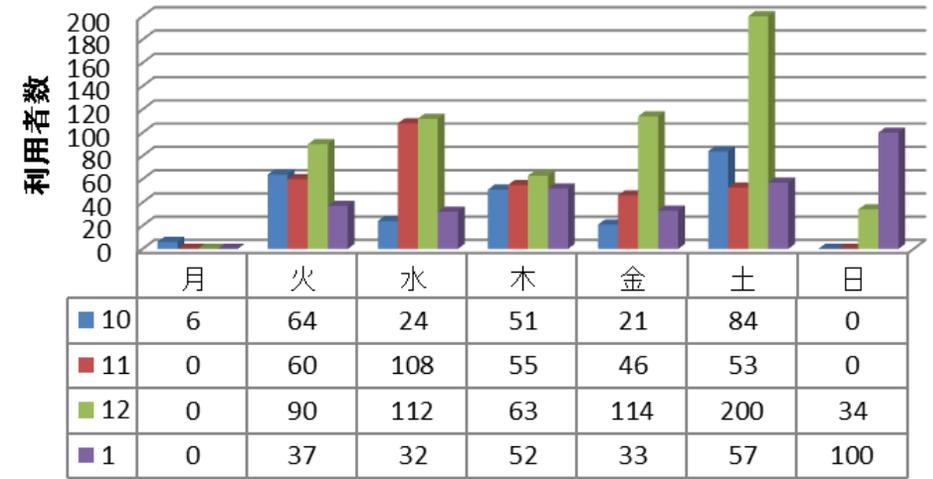
1日平均利用者数 21.2人/日

うち、オープンスペース利用者数 10.2人/日

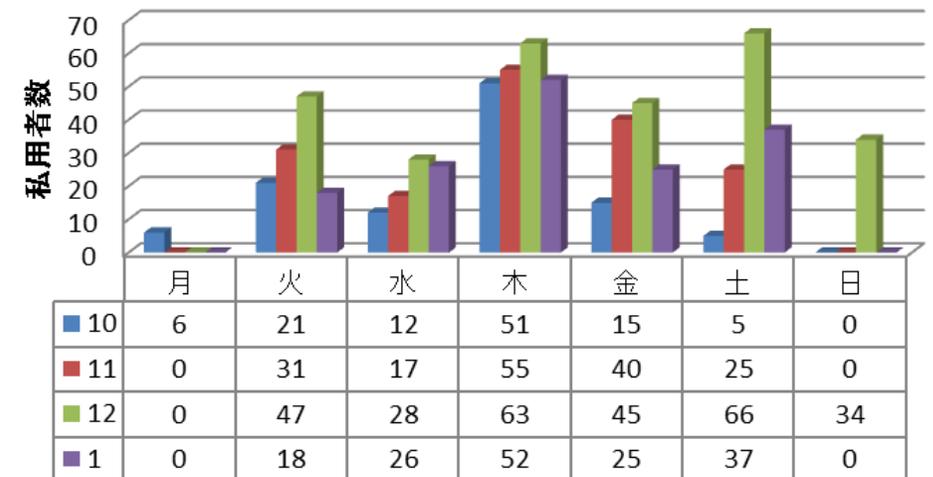
## 開室からの利用実績



## 曜日別利用実績

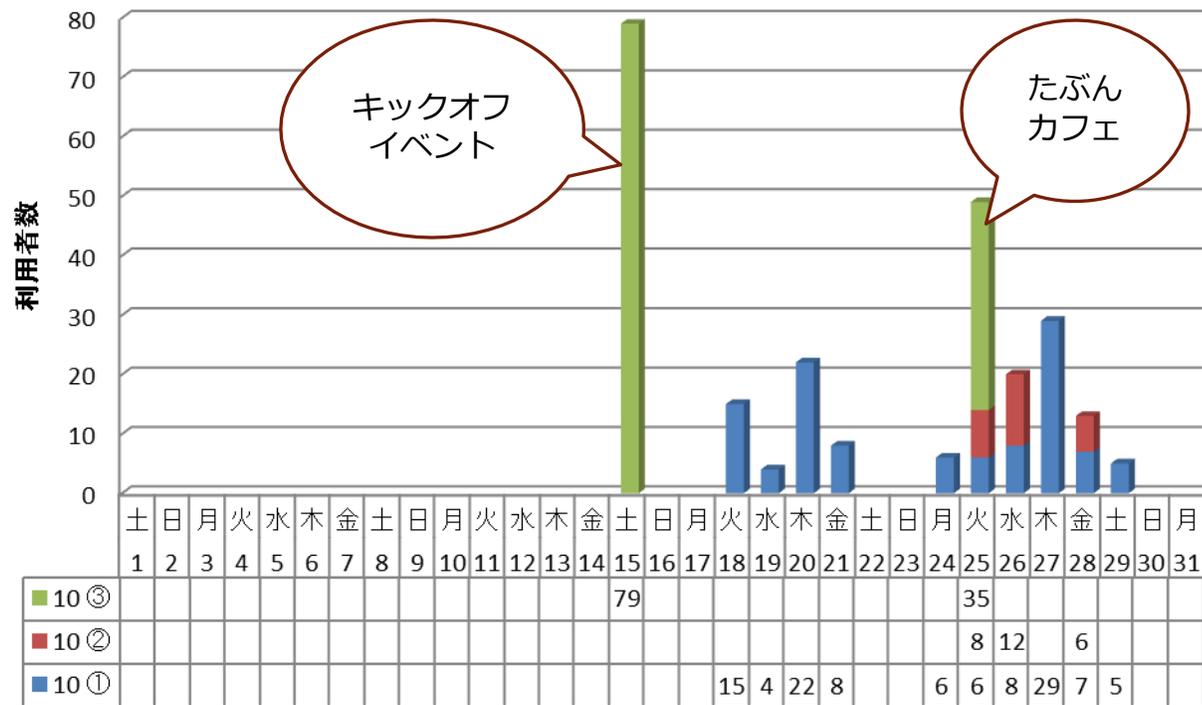


## オープンスペース利用者曜日別実績



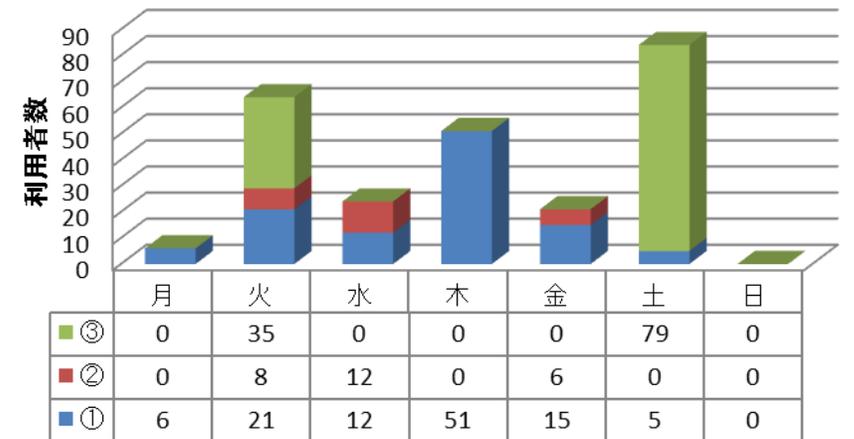
# 利用統計 10月

## 10月利用実績



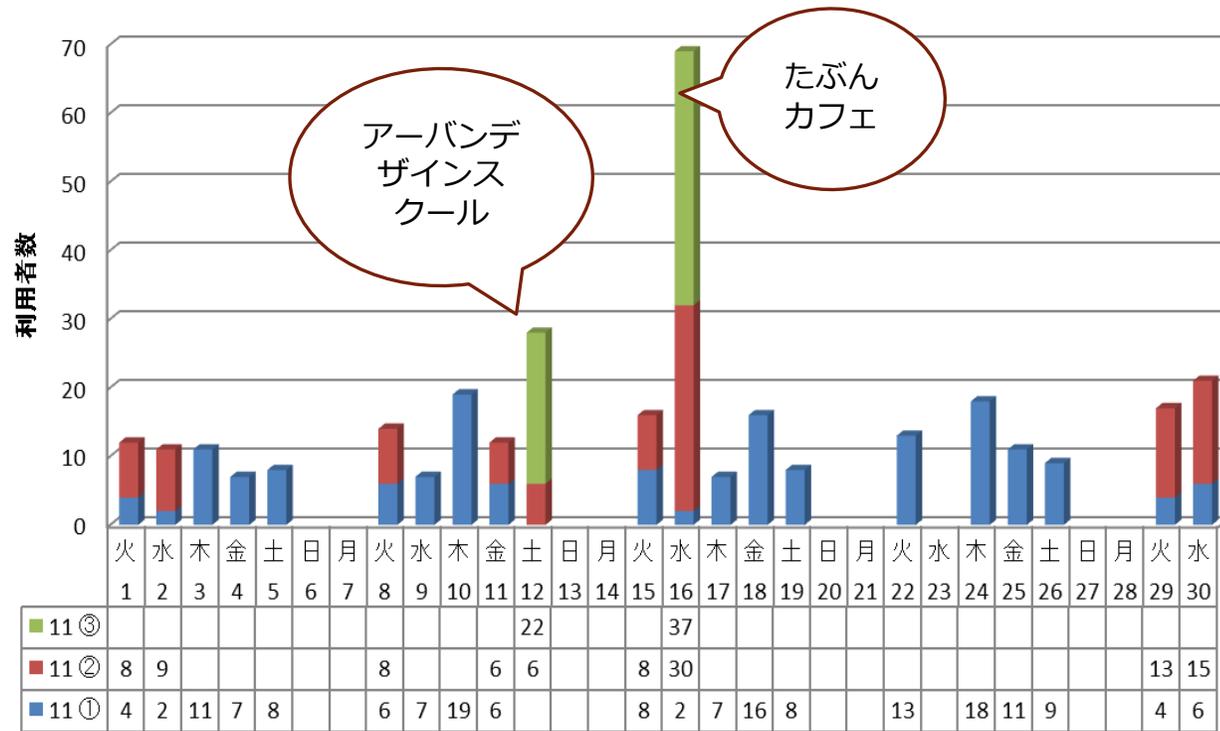
項目	人数	総計
①オープンスペース利用者	110	250
②オープンスペースイベント参加者	26	
③市民交流プラザ会議室のイベント参加者	114	

## 10月曜日別利用実績



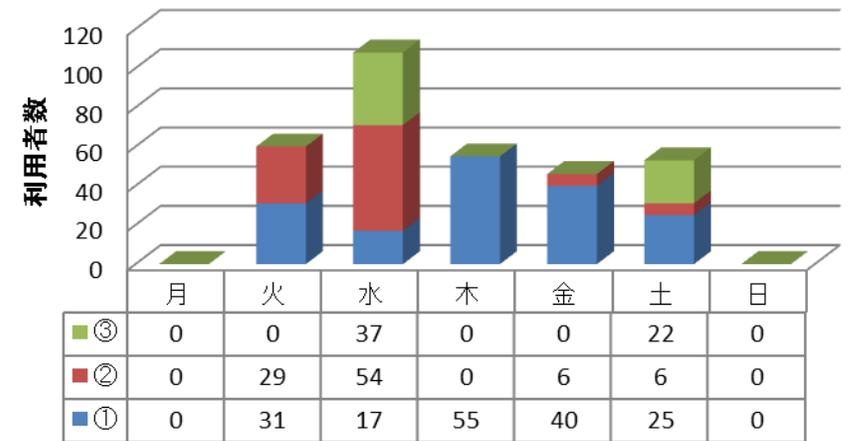
# 利用統計 11月

## 11月利用実績



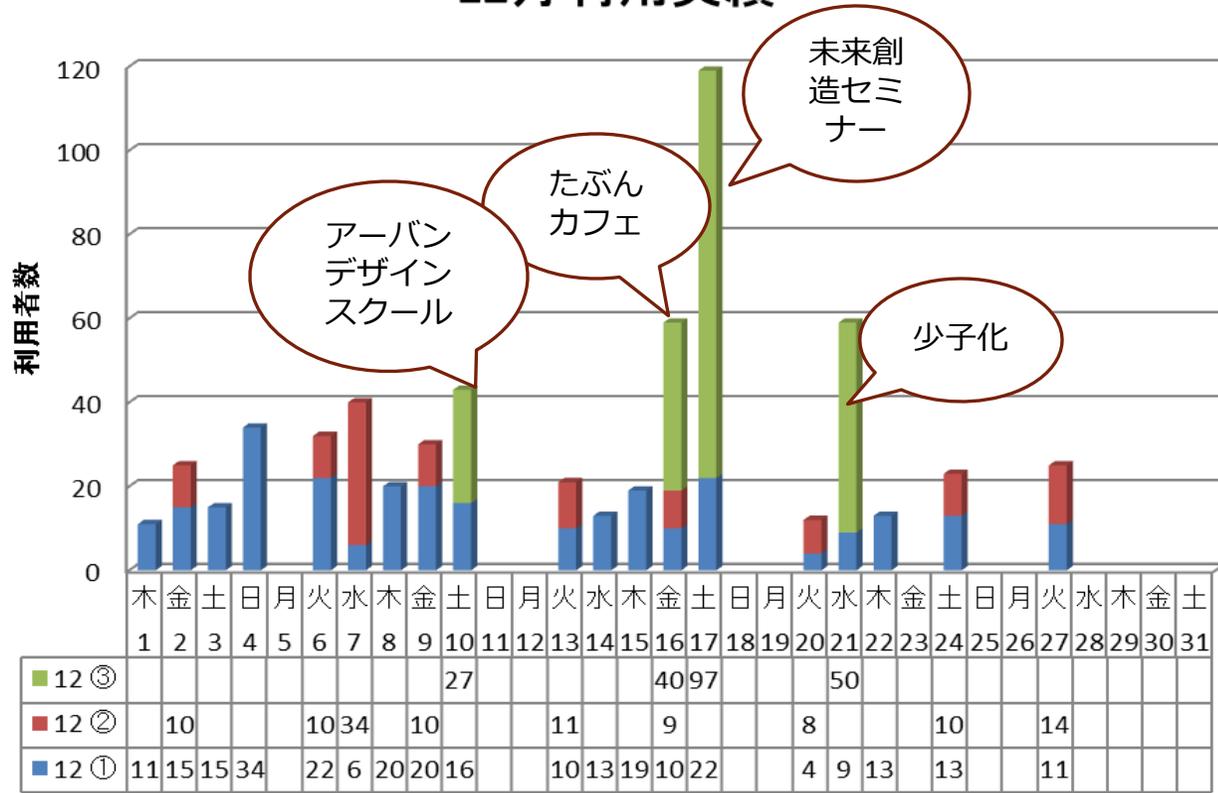
項目	人数	総計
①オープンスペース利用者	172	334
②オープンスペースイベント参加者	103	
③市民交流プラザ会議室のイベント参加者	59	

## 11月曜日別利用実績



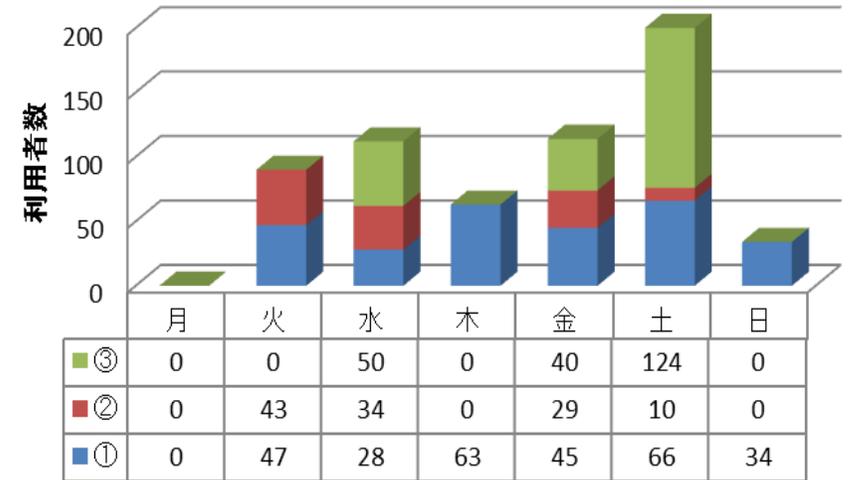
# 利用統計 12月

## 12月利用実績



項目	人数	総計
①オープンスペース利用者	283	613
②オープンスペースイベント参加者	116	
③市民交流プラザ会議室のイベント参加者	214	

## 12月曜日別利用実績





1	UDCBK事業概要	3
2	今年度事業報告	17
3	新拠点移転計画（別紙）	30
4	来年度事業のテーマ（案）	31
5	その他	38

1	UDCBK事業概要	3
2	今年度事業報告	17
3	新拠点移転計画（別紙）	30
4	来年度事業のテーマ（案）	31
5	その他	38

# 来年度事業のテーマ

健 幸

交 通

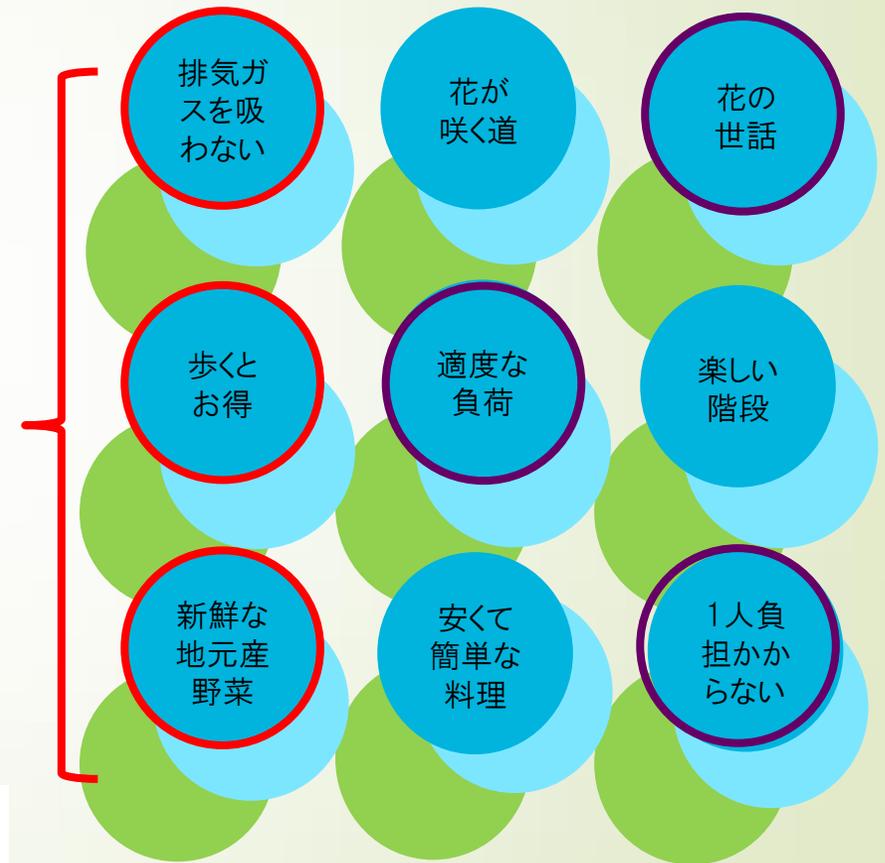
琵琶湖

文 化

各種オープンデータの利活用

# 潜在能力アプローチと機能

- 新鮮な空気を吸い、綺麗な景色を見、出会う人々とあいさつを交わしながら、歩いて駅に行く。
- 駅では、エスカレーターではなく、いつものように階段を使う。
- 毎朝、家族と一緒に朝食を食べて出勤する。
- 個々の健やかで幸せな生活を実現する潜在能力



潜在能力を発揮するための機能集合

# アーバンデザインスクール（前期）

- ▶ 「交通」をテーマに5回シリーズで行う。
- ▶ 主なテーマ
  - ▶ コンパクトシティ
  - ▶ 公共交通ネットワーク
  - ▶ 歩く街、自転車の街
  - ▶ トランジットモール（中心市街地のにぎわい創出）
  - ▶ IoT（自動運転技術） など
- ▶ テーマ、講師について選定中
- ▶ 1時間話題提供、1時間ワークショップの構成

# 未来創造セミナー

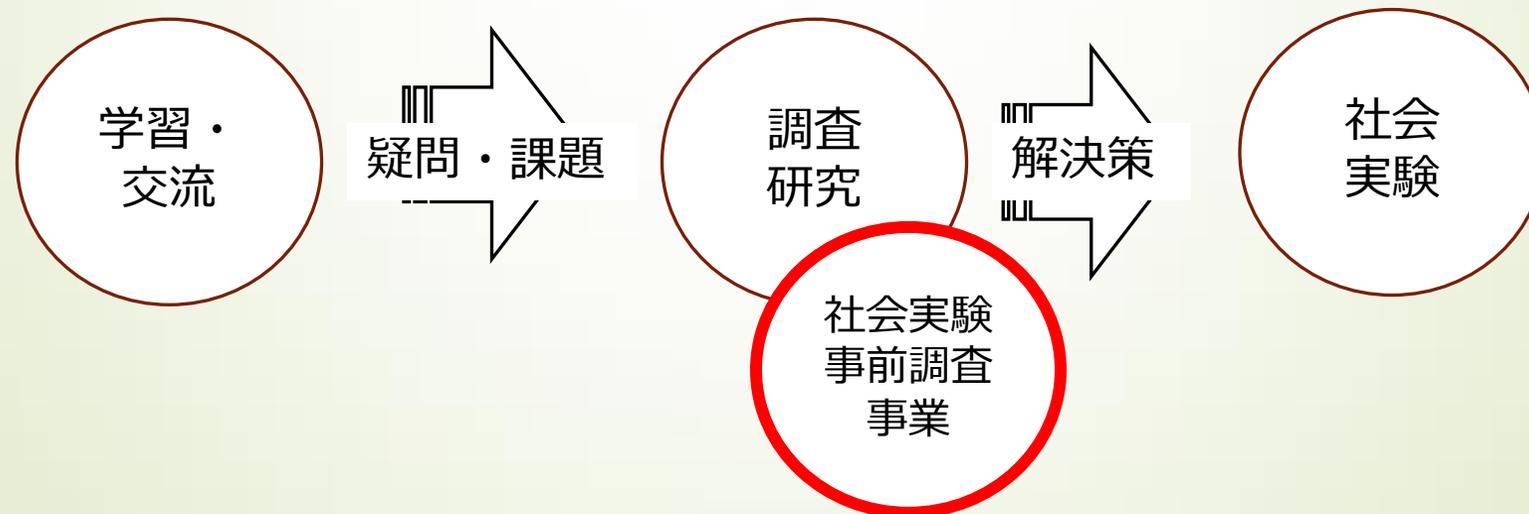
- ▶ 年10回予定
- ▶ テーマは、「健幸都市」と「多文化共生」とし、その文脈から、「琵琶湖」「文化」各3回シリーズで取り上げる予定
- ▶ 残り4回は、草津で生まれ育ち、働き、暮らす人や草津で働いている人を「草津な人」として紹介

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
テーマ	草津な人	琵琶湖	文化			草津な人	琵琶湖	文化	草津な人	琵琶湖	文化	草津な人

新拠点予定

# 社会実験事前調査事業（仮称）

- 現在の「草津市社会実験推進事業」を改称
- 「学習・交流」「調査研究」を経て、提案された案から社会実験をデザインするために必要な調査事業
- 新たな制度や技術を社会に導入した場合の影響評価や社会実験をデザインするための小規模実験等を行う。



# オープンスペース利用

\*夏より新拠点となるため、専用空間となり、活動の自由度が向上

- ▶ 「やさしい にほんご さろん」の拡充
- ▶ 市役所各課からのタウンミーティング等の委託
- ▶ 空間づくりワークショップ
- ▶ 市民団体・学生団体・まちづくり協議会・企業等との協働事業
- ▶ つながりカフェなど交流会の開催
- ▶ オープンスペースの有効活用

1	UDCBK事業概要	3
2	今年度事業報告	17
3	新拠点移転計画（別紙）	30
4	来年度事業のテーマ（案）	31
5	その他	38

# 今後の予定

No	開催日	テーマ	概要	場所
1	2.3	老上小学校特別支援学級読み聞かせ	特別支援学級の読み聞かせ会場として提供	UDCBKオープンスペース
2	2.4	中高生しゃべくり007	中高生ワークショップ	市民交流プラザ大会議室
3	2.7	UDCBK新拠点を考える	市民参加による新拠点の空間デザインのワークショップ	市民交流プラザ大会議室
4	2.9	草津の歴史	南草津の歴史を考える会主催	UDCBKオープンスペース
5	2.17	未来創造セミナー	「備える防災からイツモの防災へ」山口洋典氏	市民交流プラザ中会議室
6	2.18	第4回アーバンデザインスクール	「南草津の商業集積について（仮称）」大橋康男	市民交流プラザ中会議室
7	2.25	UDCBK新拠点を考える	市民参加による新拠点の空間デザインのワークショップ	UDCBKオープンスペース
8	2.26	中高生しゃべくり007	大人・子ども合同ワークショップ	市民交流プラザ大会議室
9	3.11	第5回アーバンデザインスクール	「これからのUDCBK（仮称）」及川センター長	市民交流プラザ中会議室
10	未定	子育て支援施設ワークショップ	来年度に開設が予定されている子育て支援施設の空間デザインを市民参加で行う。	未定